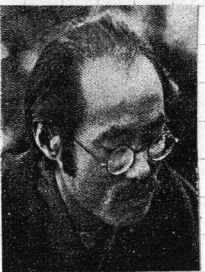


久米正雄 むねお 小説家、劇作家、俳人。明治 二十四年十一月二十日  
 福島縣生れ、昭和 二十七年二月一日歿（一九二一―一九五二）。俳號二河、蓋  
 亭。大正五年東京帝國大學文科大學英文科卒。在學中雜誌『第二次』新  
 思潮同人、および芥川龍之介と共々夏目漱石の節事。八年小山内薫等  
 と國民文藝會を興し、里見淳、土井英等と『人間』を創刊、大正のら  
 昭和に及ぶ流行作家となる。昭和十七年日本文藝報國會常任理事兼専  
 務局長を務め、戦後も川端康成等と鎌倉文庫を設立、『人間』を創刊  
 するなどの活動。

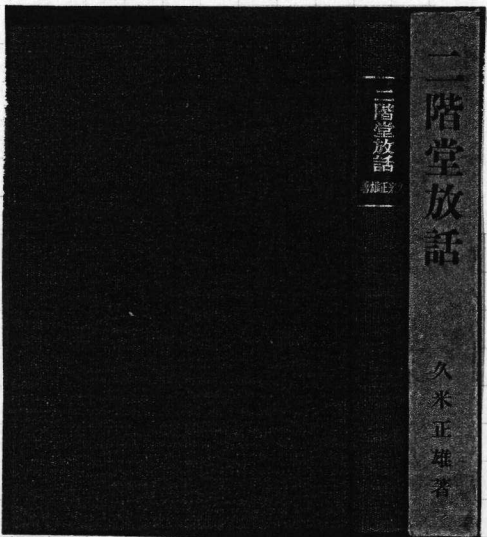
著譯書『向陵誌』（合著、大正二年六月十六日第一高等學校寄宿寮編  
 刊）、『ボーチエ作ワクレオパトラの一夜』（譯、大正二年十月十六日  
 新潮社「新潮文庫」、再刊・十年四月十七日新潮社）、シエークスビ  
 ヲ作ワロメオとシユリエツト』（譯、大正四年一月七日新潮社「新潮  
 文庫」、再刊・十一年十月十八日「泰西戯曲選集」）、同『ハムレッ  
 ト』（譯、大正四年六月二十日新潮社「新潮文庫」、再刊・十一年十  
 二月十二日「泰西戯曲選集」）、同『全譯沙翁名作選』（譯、大正五年  
 四月十八日新潮社）、エツグレイ著ワリ體派と後期印象派』（譯、大正  
 五年九月十二日向陵社「美術叢書」）、『手記四節』（大正七年一月）  
 『十二日新潮社「新進作家叢書」』、『學生時代』（大正七年五月）『十  
 八日新潮社』、『痴人の愛』（大正八年二月）『二十日新潮社』、『人  
 間集』（合著、大正八年十一月二十日新潮社）、『二  
 浦製絲場主』（大正九年二月七日新潮社）、『不死  
 鳥』（大正九年六月十日新潮社）、『漱石先生の死』



（大正十年一月一日春陽堂「新興文藝叢書」）、戯曲集『阿武隈心中』

- (大正十年)六月五日新潮社)、 『心中後の譚』他一篇』(大正十一年一月一日春陽堂「ヴエストポケット傑作叢書」)、 『良友斐友(他五篇)』(大正十一年)二月一日春陽堂「ヴエストポケット傑作叢書」)、 『久米止雄戯曲全集』(第一卷・大正十一年五月十五日、第二卷・九月)二十日金堂堂)、 『和靈』(大正十一年五月十八日新潮社)、 『破船』全二冊(前編・大正十一年七月五日、後編・十一年)二月十五日新潮社)、 『微苦笑美術』(大正十二年)一月十日新潮社「感想小品叢書」)、 『近代情話選集』(合著、大正十二年二月七日大阪・アラト社「苦笑」四月特別號附録)、 『久米止雄著作集』(第一卷『嘆きの市』(附・空華)』大正十二年四月十五日新潮社)、 『新劇名作集』(合著・文學研究會編、大正十二年)八月十五日芳文堂)、 『冷火』(大正十二年)十月十五日新潮社)、 『安政小唄』(大正十四年四月十五日新潮社)、 『少年の頭・中巻』(合著・小野誠悟編、大正十四年五月)二十日第一出版協會「少女文學叢書」)、 シエラスピーヤ作『オセロオ』(譯、大正十四年九月十四日新潮社「悲曲戯曲選集」)、 『久米止雄集』(大正十五年四月五日新潮社「現代小説全集」)、 『晴夜』(大正十五年四月十八日春陽堂)、 『地蔵教の由来』(内題「地蔵教由来」大正十五年五月十日春陽堂「現代戯曲選集」)、 『木靴』(昭和二年八月二日改造社)、 『久米止雄篇』(昭和二年十月一日新潮社「現代長篇小説全集」)、 『新選久米止雄集』(昭和四年六月八日改造社「新選名作集」)、 『小デユタ作』<sup>精</sup>『マノ・レスコオ』<sup>娘</sup>(譯、昭和四年七月)二日改造社「世界大衆文學全集」)、 『伴藤博士傳』(昭和六年八月)二日改造社「偉人傳全集」)、 『たはし』(合著、昭和

六年十一月五日時事新報社編刊）、『現代語曲鶴全集・第一卷』好色  
 『代男』(昭和八年十一月)千代春秋社)、『破船』(昭和八年七月  
 二十)『新潮社』新潮文庫)、『學生時代』(昭和九年一月)千代  
 再刊)、二十二年四月十五日新潮社『新潮文庫』)、『男の寝』(昭和  
 九年十月)千代新潮社『昭和長篇  
 小説全集』)、『二階堂放話』(昭  
 和十年十一月)千代新英社)、『寂  
 光愛』(昭和十年十一月)千代新  
 小説社)、『文章の作り方』(昭和  
 十一年一月)千代新潮社『入門百科  
 叢書』)、『吾亦紅』(昭和十四年  
 七月十五日非凡閣『新作大衆小説全集』)、『白蘭の歌』(昭和十五  
 年二月)千代新潮社)、『愛國浪曲原作集』(合著・経國文藝の會  
 編、昭和十五年二月十日大和書店)、句集『返り花』(昭和十八年六  
 月十五日甲冑書林)、『月よりの使者』(昭和二十一年八月)千代矢  
 貫書店出版部『長篇代表作文庫』)、『夕雲奇集』(久保田万太郎共  
 著、昭和二十一年九月)千代文藝春秋新社)、『久米正雄小説全集』



(第廿二卷『沈下花』昭和二十一年十  
 一月五日、第十五卷『破船』二十二年  
 十一月)千代北光書房)、『風と月と』  
 (昭和二十二年四月十五日鎌倉文庫)、  
 『紅顔綴り時』(昭和二十二年四月  
 二十日大貫書店『長篇代表作文庫』)、

- 『空華』(昭和二十一年五月十五日都書院)、  
 『いとう句會句集』(合著、昭和二十一年五月二十日在川・いとう書房)、  
 『破船』(昭和二十一年六月十日鷺ノ宮書房)、  
 『晴雲』(昭和二十一年十月十五日文潮社「名作現代文學」)、  
 『金環蝕』(昭和二十一年十一月五日朝日書房)、  
 『山鴛』(昭和二十一年十一月十五日櫻菊書院)、  
 『近代感曲選・一』(合著・岸田國十編、昭和二十二年一月十五日東方書局)  
 『近代日本文學選』(『いとう句會句集』の「句會隨筆集」)(合著、昭和二十二年一月十五日書揚書房)、  
 『虹を架ける』(昭和二十二年四月十日文芸社)、  
 『現代作家選集―秋聲文學會建設記念・下』(昭和二十二年五月二十日桃李書院)、  
 『手紙師』(昭和二十二年九月十五日鎌倉文庫「現代文學選」)、  
 『陣子の市』(昭和二十二年十一月十日永京社「青春叢書」)、  
 『プロボオ作コマノン・レスコオ』(譯、昭和二十四年二月二十日大泉書店「新選世界大衆文學集」)、  
 『新文學辭典』(松田隆大郎共著、昭和二十五年九月二十七日大泉書店)、  
 『漱石先生隨筆』(昭和二十八年二月八日文藝春秋新社)等。